

変更した。また4月1日現在で65歳の市民に交付するようにした。今後、状況をみながら次年度以降の扱いを含め対応する。

農林水産業・商工費

○飛騨高山ブランド振興事業補助金は、新商品開発やブランド力向上にどのような効果があったか。

○イタリアミラノのインターネットで見本市での商談が246件で取引継続が89件ある。東京で開催された国際家具見本市では、商談は750件で成約が101件あり、実際の成約に結び付いている。**○新規就農支援事業の実績は。**

○研修生9名を農家5か所で見つけた。農家の生産品目はトマト、ホウレンソウの2種類である。**○森林技術者が不足する中で今後の林業振興の取り組みは。**
○県の林業労働力調査

では、平成6年に森林技術者が353人いたが平成22年には161人まで減少した。このため建設事業者にも協力を頂き平成24年には214人と増加した。今後、建設事業から林業へ参入頂くなど森林技術者の確保を考えている。

土木費

○建築物耐震補強や耐震診断について、実績が少ない要因は。

○耐震診断の結果、耐震改修を行う際に、他の改修にも経費が掛かることや、後継者がいないために耐震補強を実施されないケース等がある。

○除雪費について県や国から市にどれだけ補助があったか。

○臨時特例措置として国から1億8,700万円と社会資本整備交付金1,600万円の補助を受けている。**○平成26年度の除雪費は補正予算で対応した**

が、予算の切れ目などで業者に除雪の待機など求めることはなかったか。

○補正予算により適切な対応を行った。

○松倉城址からの眺望の確保が行われたが、城山からの眺望の確保の検討はされたのか。

○倒木被害で伐採を実施、また危険木の調査を全域で実施し計画的に撤去を行っている。今後も所有者の理解を得て進めたい。

教育費

○高地トレーニング拠点施設で国からの委託金が交付されなかった原因は。

○常駐することになった。一般会計決算審査の質疑終了後、これまでの質疑や答弁を踏まえ、委員長から、市に對し次の要望を行った。

委員会からの意見

が、予算の適切・効率的な執行、「次年度の予算編成への活用」など、予算と決算の連動性という観点から決算審査を行った。理事者には、質疑や意見を十分に踏まえ、次年度の予算編成や、今後の市政運営にあたること

はもとより、予算審査や議会報告等による見直し結果や検討状況についても、議会に示す中で、議会と理事者との議論を深めることが、よりよい行政運営、市民福祉の向上・増進につながるものと考えている。こうした点について十分理解、配慮して対応いただくようお願い。

○国民健康保険事業特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計決算

国民健康保険事業特別会計決算

○国民健康保険事業特別会計決算

は考えていない。

平成27年度一般会計補正予算

地域住民生活等緊急支援交付金事業、倒木等による停電費を未然に防止する道路沿線の立木伐採事業、医師確保に対する助成、農業施設や学校施設、道路等の維持修繕の追加実施などに5億円余りを追加するもの。

○ライフライン保全対策事業はいつまで実施し、どの程度行う予定か。

○事業期間を3年として計画している。全体計画では路線延長で21.9kmを予定し、今年度は4.5kmを実施したいと考えている。

○国道路橋りょう費の補正により、まちづくり協議会からの要望事業は増額されるのか。

○要望事業の増額ではなく、継続事業、緊急性の高い修繕事業、災害復旧事業を行うための補正予算である。